

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第20号
令和3年7月1日
文責：校長 大江律子

命を守る ～安全な登下校ができるように～

先日、千葉県で小学校の児童が巻き込まれた死亡事故が発生しました。そこで、学校では再度子どもたちの登下校について確認し、指導しました。指導した内容は、①登下校は、車道から離れた歩道を一列で歩く ②縁石に乗らない です。登校はずいぶんよくなってきていますが、まだ十分とは言えない状況です。

登下校については、学校でも、繰り返し指導していきますが、是非ご家庭でも安全な登下校について、ご指導ください。

(特に横断歩道直後がよくないです。)

また、自転車の乗り方や遊びに行くときの歩き方なども同様です。「ヘルメットを着用していない子もいる」というお話も聞きました。再度、ご家庭でもご確認ください。

「子どもの命を守る」ために、学校・家庭・地域が一体となって取り組み、よろしくをお願いします。



5年生「田植え」に挑戦・・・

28日、今年も池田さんとJA青壮年部の方々にご協力いただき、5年生が田植えに挑戦しました。田植えは初めてだという子もいました。はじめは、おそるおそる水田に足を入れた子も多かったのですが、いざ活動を始めるととても丁寧にしっかりと苗を植えていました。子どもたちのきりかえの早さと、真剣に活動する姿に成長を感じました。植えた後もとてもきれいに苗が並んでいました。「苗の植え方が上手」とほめていただきました。

池田さんをはじめ多くの方のご協力で田植え体験ができました。

貴重な体験ができました。ありがとうございました。



5年生「水俣に学ぶ肥後っ子教室」

5年生は、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」ということで、学校でも学習を積み重ね、30日にzoomで参加しました。この教室は、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない態度を育て、環境問題や環境保全に積極的に取り組む児童を育てることが目的です。5年生の子どもたちは、事前に水俣病の学習を重ねてきていました。

子どもたちは、とても真剣に学習に取り組んでいました。中には、10ページ以上もメモをしながら話を聴いていた子もいたそうです。水俣病のことを学んで、水俣病のことを認めてほしいと思うようになるまでの気持ちを質問する姿も見られました。

これからも学習を進めていきます。また学んだことを発信してくれるそうです。子どもたちが自ら学ぶ姿が素晴らしかった5年生です。

「自分と考えがちがう人とどのように向き合う?～6年 道徳の授業～」

本校では、今道徳教育の研究を進めています。1回目の研究授業は6年生でした。「ブランコ乗りとピエロ」の学習をしました。主人公のピエロの気持ちに共感しながら学習を進めました。子どもたちは、はじめ自分勝手に見えるブランコ乗りのことを許せないという意見でしたが、ピエロが相手のがんばりを認めた姿から、「今まで考えが違う人のことをイライラして悪いところばかり見ていたけど、いいところも見ていきたい」「普段見えないところも見ていく」と自分なりの答えを考えていました。

本教材は、私たち大人にも大きな示唆を与えてくれる内容でした。子どもたちはたくさん考えた1時間でした。これからも子どもたちとともに考え、心の教育に取り組んでいきます。



明日は、PTA 例会、授業参観、学級懇談会です。子どもたちのがんばりを見に来てください。